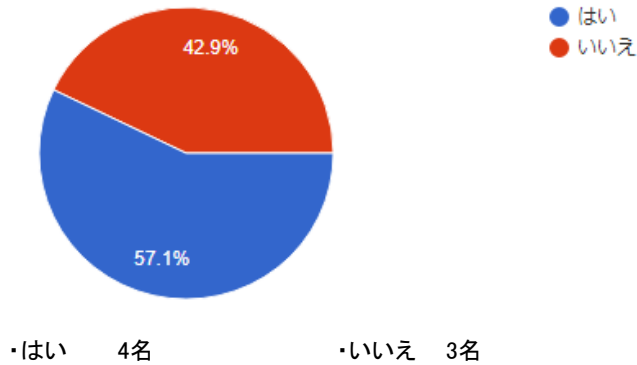


令和元年度実施 人間環境学部 卒業生アンケート結果(平成27年度卒業生)

調査期間 令和2年9月1日～9月30日
調査対象者数 92名
アンケート回答数 7名 回答率 7.6% (※転居先不明 11名)

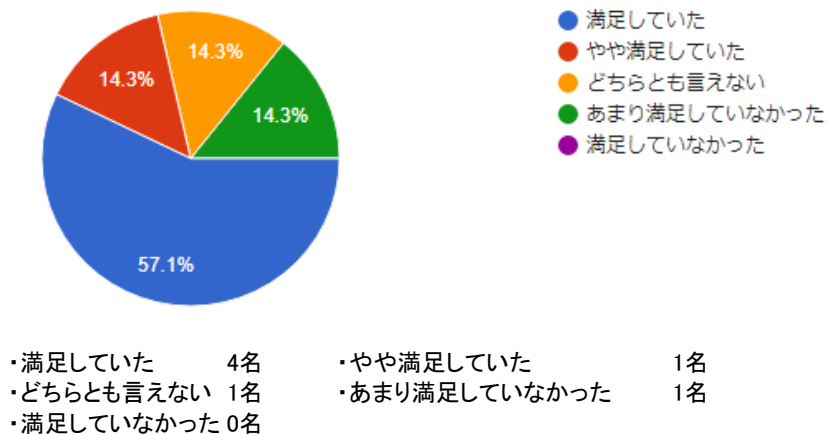
Q1 人間環境大学は第一志望でしたか。

7件の回答



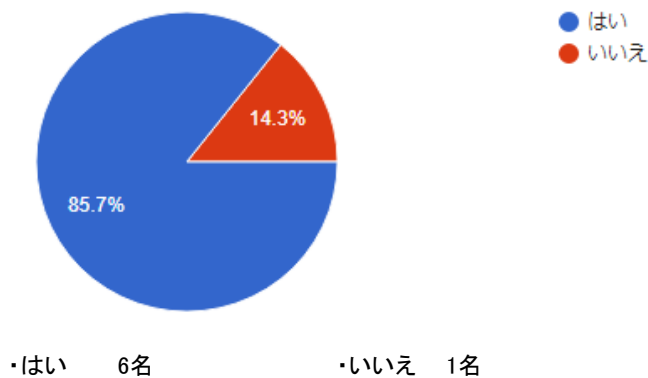
Q2 本学に対する総合的な満足度はいかがでしたか。

7件の回答



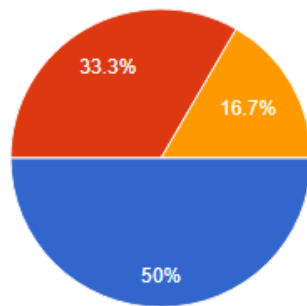
Q3 ①現在、お仕事をされていますか。

7件の回答



Q3 ② ①で“はい”と回答された方へ;就労状況を教えてください。

6件の回答

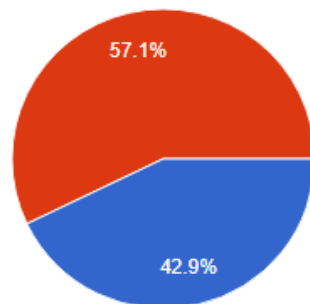


- 卒業時と同じ仕事
- 転職した
- 卒業後は進学した
- その他

- ・卒業時と同じ仕事 3名
- ・卒業後は進学した 1名
- ・転職した 2名
- ・無回答 1名

Q3 ③ 後輩に今の会社を勧めますか。

7件の回答



- はい
- いいえ

- ・はい 3名
- ・いいえ 4名

Q4. 本学で学んだ専門的な内容は、仕事にどのように活かされていますか。

- ・職場での交流の中で一般教養として役立っている。
- ・そのまま大学院に進み、臨床心理士になっています。大学時代に勉強したことも、現在に活かされていると思っています。
- ・あまり活かされていません。
- ・人間関係
- ・十分いかされている。
- ・経済や金融についての知識が役に立った
- ・当たり前のことかもしれませんが、何を考えてどう伝えたいのか、相手のことよく知ろうとする意識が身に付いたと思います。ころや人というような、抽象的なものが対象な学びですが、相手だけではなく、時には自分自身のことを知るきっかけになるので、実習などの専門的な授業が多い環境は恵まれていたなと感じます。

Q5. 仕事に取り組む上で、在学中にもっと学んでおいた方が良かったと思うことは何ですか。

- ・実際の社会で必要な経済の仕組みについてもっと学んでおいた方が良かったと思う。
- ・心理学の基礎的な理論など、もっと心理士になるという目標を持ってしっかり勉強しておかないといけなかったなと思います。
- ・精神疾患について。
- ・人間関係
- ・ビジネスマナー
- ・Excelの統計や幅広い知識
- ・就職してから思うのは、幅広く学んでおくことの大切さでした。資格取得講座で、電話対応検定と秘書検定を受験しましたが、今の仕事にも繋がっているなと思います。当時4つコースがあり、心理学以外の授業も単位をとらなくてはならず、正直なんでだろうと感じていました。通常の大学だと学部の授業しか履修できないかと思いますが、人間環境学部ということで、他の大学では学部ちがいで受けられない授業もとりやすく、幅広く学ぶことのできる、すてきな環境をもっと積極的に利用すべきだったなと、今になって改めて感じています。

Q6. 人間環境大学および後輩に対して、ご自由にコメントをお書きください。

- ・大学生活は自由な時間が多いので、無駄にせず様々な経験を積んでください。
- ・大学生だからこそ出来る事を沢山して下さい。物事に疑問を持つ癖をつけておくと沢山知識が身につきます。その知識が仕事を始めてから必ず役に立ちます。頑張ってください！
- ・自分のやりたいことをやるのが1番です。自分に正直になったら自ずと見つかります。
- ・会社説明会など、人間環境大学の学生の予約があると、人事の担当者に母校から来るよーと言っていたことがあり、密かにデスクからチェックしてます。コロナの状況のなか、オンライン授業や就活でも今までとは違った様式を求められることが多く、学生や関係者のみなさんにとって、大変なことが続くかと思いますが、貴重な学生生活が有意義なものとなるように応援しています。

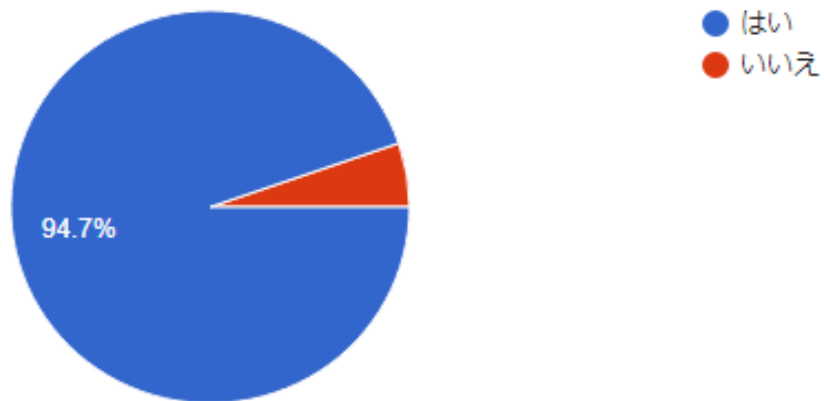
令和2年度実施 人間環境学部 就職先企業様アンケート結果(平成27年度卒業生)

調査期間 令和2年9月1日～30日
調査対象企業数 66社
アンケート送付社数 28社
アンケート回答社数 19社 回答率 67.9%

Q1.本学の卒業生について、あてはまるものに○をつけてください。

①本学の卒業生は、幅広い教養が身につけていると思いますか。

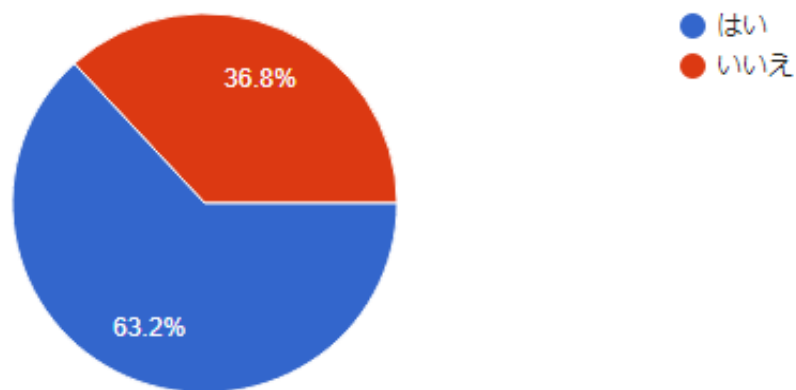
19件の回答



・はい 18社 ・いいえ 1社

②本学の卒業生は、大学で学んだ専門的な内容を活かしていると思いますか。

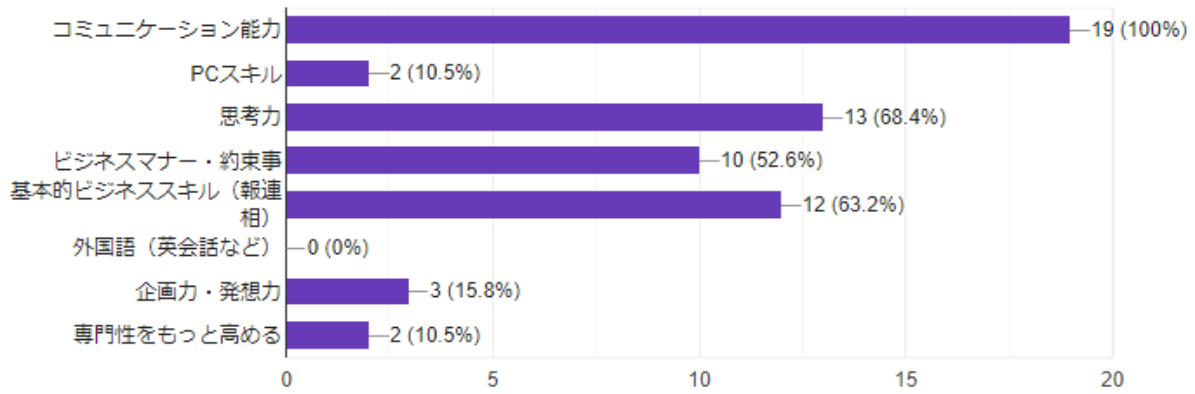
19件の回答



・はい 12社 ・いいえ 7社

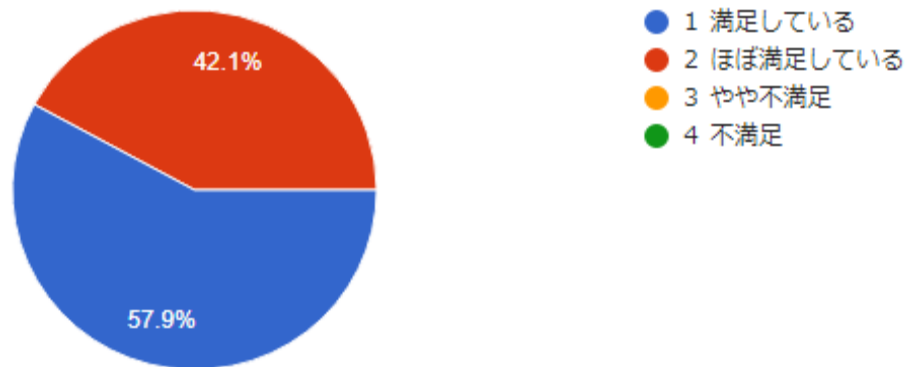
Q2.本学の卒業生が貴社の業務に貢献するには、在学中にどのような能力を習得することが望ましいですか(複数回答可)。

19 件の回答



Q3.本学の卒業生を採用して、あてはまる項目に○をつけてください。

19 件の回答



・満足 11社
・やや不満足 0社

・ほぼ満足 8社
・不満足 0社

令和2年度実施卒業生アンケート結果（平成27年度卒業生）および就職先企業様アンケート結果（卒業生）の分析について

調査期間：令和2年9月1日～9月30日

調査対象者数：92名→アンケート回答数7名（回答率7.6%）

Q1「人間環境大学は第一志望でしたか」に対して「いいえ」と回答したのは7名のうち約半数の3名（42.9%）であった。しかし、Q2「本学に対する総合的な満足度はいかがでしたか」に対して「満足していなかった」という回答は見られず、また、「あまり満足していなかった」という回答についてはわずか1名（14.3%）であった。このことから、第一志望でなかった学生でも、期待以上の大学生活を送ることができたことが伺える。

Q3①「現在、お仕事をされていますか」に対して「はい」と回答したのは7名のうち6名であり、続くQ3②「①で“はい”と回答された方へ：就労状況を教えて下さい」に対して、「卒業時と同じ仕事」という回答が3名（50%）、「卒業後は進学した」という回答が1名（16.7%）であった。したがって、概ね学生本人の希望を叶えるための進路指導を実施できていると言える。その一方で、「転職した」という回答が2名（33.3%）あり、必ずしも新卒時の就職先に満足していない者がいることを意味する。この点は、Q3③「後輩に今の会社を勧めますか」に対しては7名のうち半数以上の4名（57.1%）が「いいえ」と回答したことにも反映されている。新卒時に希望通りの就職ができなかったのか、それとも、希望通りの就職先だったが期待と違ったのかによって対応策は異なると考えられるが、いずれにしても、後悔のない就職のための指導を今後の課題とすることができるかもしれない。

Q4「本学で学んだ専門的な内容は、仕事にどのように活かされていますか」の自由記述欄からは、仕事内容に直結した形で本学での学修を活かすことができている就労者がいることが分かる。具体的には、「経済や金融での知識」や「心理臨床における基礎知識」である。また、「職場での交流」や「人間関係」といった面で専門的知識が活かされているようである。さらに、他者の理解や自己の客観視について、実習系の科目の効果に言及する回答者もいた。これらは、多様な教育内容に加えて、実習による経験的な学修の機会を少人数で着実に提供する本学の魅力の現れであると考えられる。

Q5「仕事に取り組む上で、在学中にもっと学んでおいた方が良かったと思うことは何ですか」の自由記述欄では、「経済の仕組み」、「精神疾患」、「専門領域の基礎的理論」などの専門的内容が挙がっている。これらの回答は、就労により専門知識の必要性を具体的に理解したことによるものと考えられる。また、この結果は、同時に行われた「就職先企業様アンケート」のQ1②「本学の卒業生は、大学で学んだ専門的な内容を活かしていると思います

か」において、7社（36.8%）が「いいえ」と回答したことから整合するかもしれない。こうした点をふまえるならば、応用的視点に基づく専門教育の充実を図る余地があると考えられる。

他には、「人間関係」や「ビジネスマナー」を在学中に学ぶべきだったと考えている者もいる。就職先へのアンケートのQ2「本学の卒業生が貴社の業務に貢献するには、在学中にどのような能力を習得することが望ましいですか（複数回答可）」において、回答した全19社が「コミュニケーション能力」を挙げており、「ビジネスマナー」と「ビジネススキル（報連相）」もそれぞれ10社（52.6%）と12社（63.2%）から挙げられている。つまり、社会人活動としての基本スキルの不備をお互いが共通して認識していることになる。この現状を今後の指導に活かし、外部講座の紹介なども含めて改善の取り組みを具体的に実施していく必要があると考えられる。